

**2016年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修
実践編『ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム』アンケート集計結果**

開催日時：2016年9月24日（土）～25日（日）

開催場所：小倉記念病院（福岡県）

【属性】

参加者：54名（うち女性52名、男性2名）

年齢：20歳代1名 30歳代20名 40歳代17名 50歳代14名 60歳代1名
無記名1名

職種：准看護師0名 看護師33名 教員16名 無記名5名

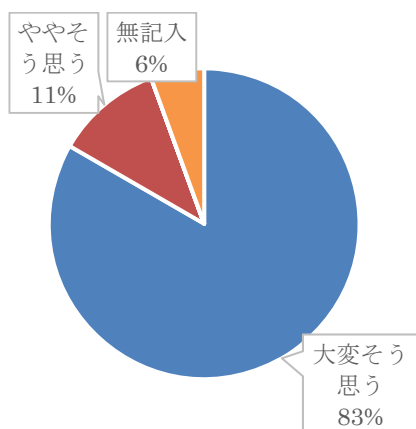
職場：一般病床23名 療養病床1名 回復期リハビリテーション病床0名
介護老人保健施設0名 特別養護老人ホーム2名 有料老人ホーム0名
訪問看護ステーション2名 その他5名 教育機関16名 無記名5名

職位：スタッフ23名 主任8名 師長2名 部長2名 その他11名
無記名8名

看護師経験：5年未満1名 5～10年未満6名 10～20年未満26名
20年以上17名 無記名4名

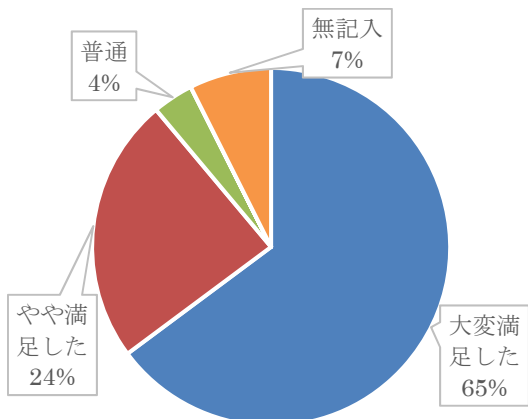
高齢者ケア経験：3年未満2名 3～5年未満0名 5～10年未満13名
10～20年24名 20年以上8名 無記名7名

I. 本プログラムを受講して、高齢者の‘エンド・オブ・ライフ・ケア’の重要性が理解できましたか。



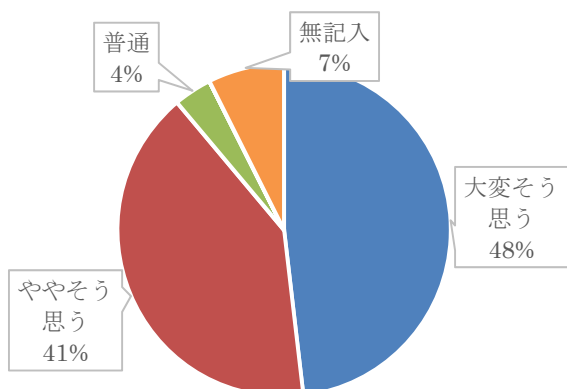
5.大変そう思う	45名
4.ややそう思う	6名
3.普通	0名
2.あまり思わない	0名
1.全くそう思わない	0名
無記入	3名

II. 本プログラムの内容は、あなたの期待をどの程度満たしましたか。



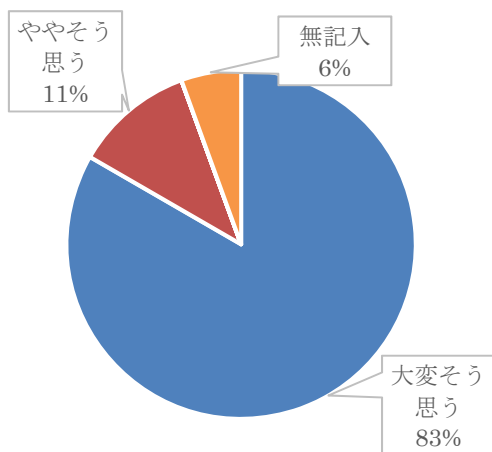
5.大変満足した	35名
4.やや満足した	13名
3.普通	2名
2.あまり満足していない	0名
1.全く満足していない	0名
無記入	4名

III. 本プログラムの内容は、あなたの職場の高齢者のエンド・オブ・ライフケアの状況に合っていると思いますか。



5.大変そう思う	26名
4.ややそう思う	22名
3.普通	2名
2.あまり思わない	0名
1.全く思わない	0名
無記入	4名

IV. 本プログラムの内容を、あなたの職場で活用していきたいと思いますか。



5.大変そう思う	45名
4.ややそう思う	6名
3.普通	0名
2.あまり思わない	0名
1.全く思わない	0名
無記入	3名

V. プログラム全体や配布資料についてなど、ご意見・ご感想をお聞かせください。

【プログラムに関して】

- ・ 1つ1つのモジュールが充実しており、能動的に参加し学べたと思います。
- ・ 自分の考え方や傾向、価値観を振り返る貴重な時間となりました。今回のようなプログラムを今後も継続して行って頂きたいと思います。
- ・ 今回の研修は私にとって大変有意義であった。理由として、これまでの患者様やご家族様とのケアや関わりを振り返りながら、良かった点については継続すること、さらに善いケアを目指すにはどうしたらよいか、できていないことについては、その解決の糸口を見つけることができた事。糸口に関しては、講義の中においてはもちろんであるが、ディスカッション、ロールプレイなどのグループワークの中で気づかされたことが多く多くあった。チームで話し合うことの大切さを再認識した。「ディスカッションは、人数の問題ではない、中身である」事も強く感じた。
- ・ 自分自身の課題も多く感じた。中でも、自分自身の価値観をしっかり持って、それは大切にすること、そして、他の人の価値観も大切にすること、そのためには、その人らしさ、人生観、ヒストリーなど、お話をゆっくり目的をもって聴くことの大切さを改めて感じた。院内では、なかなか理解してもらえないことも多いが、ディスカッションを通して、感じている大変さ、悩みなど、同じ悩みを持つ方も多く、私だけではないんだと思え、頑張る勇気を受講生や講師の先生からいただいたと思う。今回学んだことを今後の実践に活かしていきたいと思う。
- ・ 業務にとらわれ、日頃忘れがちなアセスメントや観察の視点、考え方を学べた。
- ・ ロールプレイニングやGWなどアクションがあり、全体の印象としてメリハリがあって良かったと思います。
- ・ ファシリテーターがいてくださることもとてもよかったです。

【資料に関して】

- ・ 資料も分かりやすく、講義も実践に結び付いた内容だったので、満足しました。
- ・ カラーの資料が欲しい。(少しお金を出してもいいでの。)
- ・ 色や文字など、私もこのようなスライドが作れたらと思った。

【その他】

- ・ 元気をもらえました。
- ・ 色々な病院や部所、立場の異なる人と交流できて視点を広げることができた。
- ・ 臨床から、もっと参加が増えたらと感じました。
- ・ 3日間でもよかった。
- ・ 日々のケアの中で、一回きりのステキな看護をスタッフから聞くことができて意味づけできず、共有し次回に生かすことがむずかしかった。しかし、この研修で論理的なうらづけを得て、全体のケアの質の向上につなげられそうだとワクワクしている。

文責：有馬温泉病院 西山みどり